

《担当者名》○奥田 かおり k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp 福間 麻紀 二通 諭(非)

【概要】

特別の支援を必要とする児童生徒の障害の特性及び心身の発達を学び、教育課程や支援の方法を学修する。また、貧困等の問題を抱えている児童生徒の学習・生活上の困難や組織的対応の必要性を学ぶ。

- ・特別の支援を必要とする児童生徒の理解
- ・特別の支援を必要とする児童生徒の教育課程と支援方法
- ・障害以外の特別の支援が必要な児童生徒の把握と支援

【学修目標】

通常の学級にも在籍しているさまざま障害や置かれている環境の課題等により特別の支援を必要とする児童生徒の理解を深め、個別の教育的ニーズに対する、校内及び関係機関との連携を含めた対応について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	インクルーシブ教育の意義と社会的制度	障害児教育史概観：「特殊教育」から「特別支援教育」への移行と共生社会への展望	二通
2	インクルーシブ教育の諸課題	インクルーシブ教育の理念と方法を先行実践から抽出する	二通
3	児童生徒の発達を理解する	「こんなときどうする？」：障害と発達の理解に基づく教育的アプローチの実践	二通
4	発達を支える生徒指導のあり方	「こんなときどうする？」：行動の背景にある諸課題の理解と適切な対応の実践	二通
5	障害の特性を考える(1)	視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱の困難と教育実践の課題 — 発達課題と教育指導課題という視座から	二通
6	障害の特性を考える(2)	自閉症・情緒障害、言語障害の困難と教育実践の課題 — コミュニケーション力の形成という視座から	二通
7	障害の特性を考える(3)	学習障害、注意欠如多動性障害などの困難と教育実践の課題 — 適切なアセスメントによる働きかけという視座から	二通
8	個別の支援計画に関する理論	「個別的教育支援計画」の意義と特別支援教育コーディネーターの実践に焦点を定めて	二通
9	個別の支援計画を立てる	「個別の指導計画」の作成と保護者との連携 — 合理的配慮、ユニバーサルデザインを視野に入れて	二通
10	特別支援教育の実践	通常学級に在籍する発達障害等の児童生徒への教育的支援 — 通級指導教室における自立活動などを視野に入れて	二通
11	障害以外の児童生徒の理解と支援(1)	児童生徒の生活上の困難をとらえる視点	福間
12	障害以外の児童生徒の理解と支援(2)	貧困の問題のある児童生徒のニーズ把握と理解	奥田
13	障害以外の児童生徒の理解と支援(3)	貧困の問題のある児童生徒に対する支援	奥田
14	障害以外の児童生徒の理解と支援(4)	外国人の児童生徒のニーズ把握と理解	奥田
15	障害以外の児童生徒の理解と支援(5)	外国人の児童生徒に対する支援	奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】
導入している

【評価方法】
レポート（８０％）、授業への参加態度（２０％）

【教科書】
使用しない。教員の作成するレジュメを配布する。

【参考書】
授業中に適宜資料を配布する。

【学修の準備】
授業の次回単元の予習（２時間）
授業後の復習（２時間）

【免許法施行規則に定める科目区分等】
「教育の基礎的理解に関する科目」の「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」に該当する。

【実務経験】
二通諭（公立小学校20年、同中学校15年にわたり特別支援学級教員。そのうち地域連携型特別支援教育コーディネーター歴7年）
福間麻紀（社会福祉士）
奥田かおり（ソーシャルワーカー）

【実務経験を活かした教育内容】
二通（遊びの指導や自立活動、性に関する指導、「個別の指導計画」の作成など実践的教育を行う）
福間（スクールソーシャルワーカーとしての実務経験に基づき、児童生徒の生活支援の方法等を具体的に取り上げた講義を行う）
奥田（母子生活施設や教育現場でグループワーク、カウンセリングの実務経験に基づき、ソーシャルワーカーとしての態度、支援方法をアクティブラーニングを取り入れて実施する）